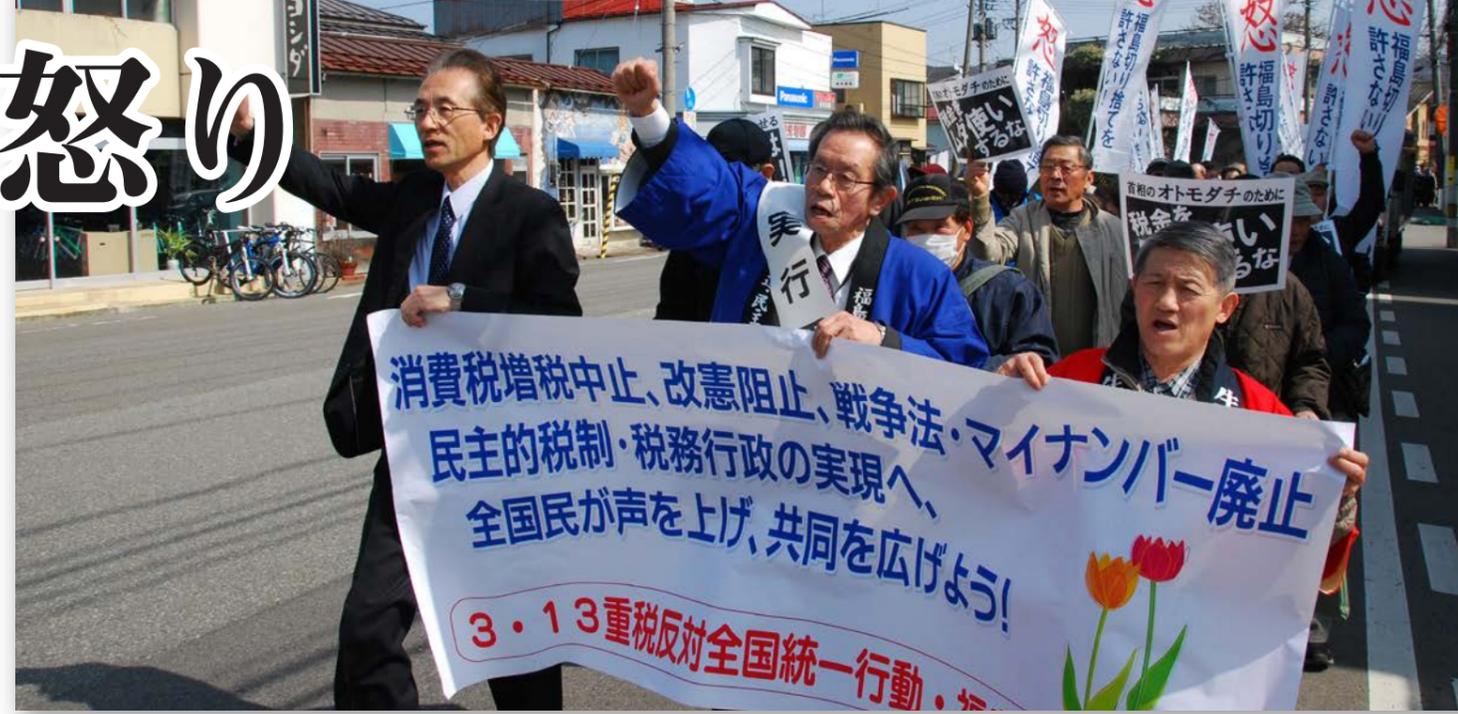


街中に響いた県民の怒り

第49回 3.13重税反対全国統一行動

森友問題文書改ざんが次々と明らかになる中、国民の怒りが渦巻く3月13日、各地で49回を迎える重税反対全国統一行動が行われました。福島県内では9カ所で開かれ、国政への不信感が大きく広がる中、集会参加者は怒りの声と公正な税務行政を求めて、デモ行進と税金申告を行いました。



**消費税
増税中止!**

**改憲
許さない!**

**安倍内閣
退陣!**

**森友問題文書改ざん
徹底究明!!**



力が入ったガンパロー三唱



怒りの白い旗と安倍退陣のプラカードをもってアピール



二本松市の集会のオープニングを飾ったのは、女声特設合唱団の歌声。元気な歌声に集会参加者の心が一つになりました

**力合わせて
政治を変えよう**

福島市で行われた集会には、福島市、伊達市、伊達郡から約五六〇名が参加しました。基調報告では原発事故から七年が過ぎても五万人余りの方々が避難生活を強いられ、生活再建が進まない実態、事故収束の見通しが立っていないこと等が報告されました。また来年十月から消費税一〇%引上げで、暮らしも営業も立ち行かなくなること、憲法改悪や戦争法など平和を脅かす問題、そして次々と明らかになっていく森友問題文書改ざんの実態が報告され、力を合わせて政治を変えようと結びました。アピール採択の後に行われたガンパローの拳に力が入りました。



農民連から農家の実態を報告

**抗議の声を
もつともつと届けよう**

二本松市で行われた集会では、安達地方農民連の佐藤佐市実行委員長が「森友・加計疑惑は、とかげのしっぽ切りで終わらせない。安倍首相には責任を取って辞めていただきます」と述べると会場から「そうだ!」の掛け声と共感の拍手が沸き起こりました。根本県農民連会長からは、「今の怒りをどうするか、自民党代議士に問いたい『自民党という政党は官僚をいじめ殺してまで生き延びる政党ですか』と。もつとみんなの抗議の声をどんどん届けよう」と発言しました。アピール採択の後、税務署までデモ行進、「安倍内閣辞めろ!」「マイナンバーは廃止」と元氣よくコールしながら市民に訴えました。

公正な税務行政を要請

税務署までのデモ行進は「首相のオトモダチに、税金の無駄遣いさせるな」「役人に嘘つかせる、安倍内閣は退陣しろ!」「国民なめるな!」と怒りがこもったシユプレヒコールが街中に響き渡りました。

税務署では公正な税務行政を求める要請書を渡し、一人ひとり税金申告を行いました。

農民連フラッシュflash

チェルノブイリと福島をつなぐタベ

3月20日二本松市で開催されました。チェルノブイリ原発ゾーン内ガイド、フランチュク・セルゲイさんをお招きし、汚染地域に暮らす高齢者や独居者に必要な施策・支援とは?を対談形式で話していただきました。遠藤ミチロウミニライブ、現代美術家「凜」作品展示も合わせて開催されました。



県北女性部浜通り被災地視察

3月26日県北女性部で浜通りの被災地視察を行い19名が参加しました。アクアマリンふくしま～浪江～相馬へ。生業裁判原告団団長の中島孝さんに震災時と現在の状況を説明していただき震災・原発事故から7年を迎えた浜通りの姿を目に焼き付けて帰ってきました。



NOTE

青年部の活動、地元の農や食のことをリレーで紹介!

若い農業者のつぶやき せいねんぶ農人

毎年恒例になっている兵庫県立大学の学生災害復興支援団体LANが今春も浜通りにやってきました。青年部後藤さんに、農業経営や稲の育苗、米作りのお話を聞き、20km圏内ツアーに参加して夜は青年部とバーベキューをして交流を深めました。 by宮本

